

## 近郊のお花見 井の頭公園

### 自然文化園 御殿山

企画委員会

コロナ緊急事態宣言が解除されましたが、用心第一で観桜をしました。気温15℃、快晴の下、この指とまれ方式で吉祥寺駅に15名が集合しました。

学校の春休みで、若者の街吉祥寺は賑やかな人出でした。肝心の井の頭公園の池の周囲の桜は三分咲で、これからですよとの風情でした。

日時：2022年3月25日（金）日帰り  
集合：JR 吉祥寺駅 南改札外 10時30分  
解散：JR 吉祥寺駅 流れ解散 14時30分  
参加費：なし  
費用：現地往復交通費、水生物園入場料 各自支払

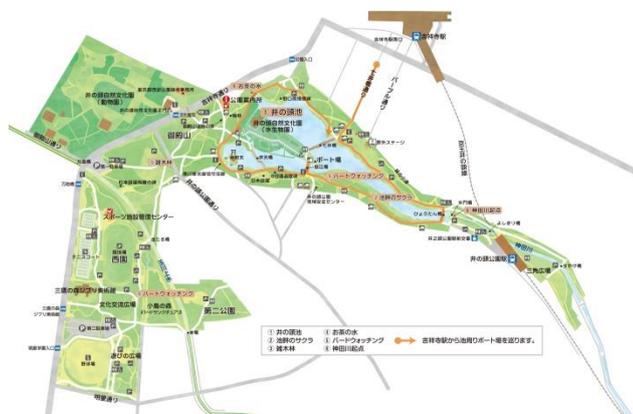
参加者：この指とまれ方式  
15人

順路：集合；JR 吉祥寺駅南改札→井の頭公園  
（七井橋、狛江橋、ひょうたん橋、神田川起点・水門、お茶の水、御殿山遺跡の碑、）→井の頭自然文化園  
（水生物園）→三鷹の森ジブリ美術館→吉祥寺駅中央  
→昼食懇談会→JR 吉祥寺駅；解散

昼食 JR 吉祥寺駅 北口

散策：1時間半（1万歩）  
井の頭公園周遊と付近の散策

観桜：400本（三分咲）



記念写真 井の頭公園狛江橋にて  
桜をバックにしてパチリ！

### 井の頭公園の由来

三代将軍徳川家光が名付け親だそうです。現在は、ここの池はボートと桜が有名で、四季折々にその風情を変化させています。池の西側から東に向けて徐々に幅が狭くなっていて、奥行きを出しています。



### 井の頭公園の桜

枝が水面にすれすれまで垂れ下がる景色を変わらず見せてくれていました。池の定番スワンボートもよく景色になじんでいました。



## 井の頭公園の桜 枝垂れはこれから



まだこれからの装いでした。蕾はたくさんあり、一斉に開いたらさぞや豪華と想像しました。あと1週間もすれば絢爛豪華となるのでしょうか。

## 七井橋



井の頭公園には自然湧水が七か所あり、これにちなんで池の中ほどにある橋を七井橋というようになったそうです。水はお茶をたてるに絶好の清冽であり水量は豊富であったようです。

## 神田川の起点



池の東橋はくびれています、ここが神田川の起点です。延々と流れた水は、目白台下に構えた水門で取水され江戸下町に水道として送りました。これが江戸の水道で、江戸っ子の産湯は水道というのが自慢でした。

## お茶の水



公園入口からごく近くにありました。由来によると、三宝寺池、善福寺池と合わせて武蔵野三大湧水池と呼ばれ、徳川家康がお茶を淹れたことから名がついたそうです。

残念ながら現在は湧水が減少しているので、地下水をポンプでくみ上げているそうです。

## 御殿山遺跡

碑が立っていました。縄文時代の直径5mの竪穴式住居跡がここで発掘されたそうです。小高い丘、近くに水場ありの集落を形成するのに適した場所だったようです。



## 東京都井の頭自然文化園 水生物園



ビオトープのある水族館で、絶滅の恐れのある魚などの展示がありました。淡水魚タナゴなどの個体数が減少しているとの説明があり、自然環境の保全に思いが至りました。

イトウ、ヤマメなどは溪流でしか見られない魚ですが、水面に落ちてくる小虫を餌にするアクションも観賞しました。

## シルバー世代は割引



東京都の管轄のため、シルバー世代は割引でした。入場券は記念になるように、日付のスタンプを入口で押印するスタイルでした。

## 武蔵の森の雰囲気



井の頭公園一帯の植生は、まばらな木立姿でした。国木田独歩の武蔵野の風景もかくありなんと想像しました。春の柔らかな日差しが、ふうわりと優しい幹の影を地面に描いていました。

## ジブリの案内板

四か国語で記してありました。ジブリは国外でも人気を問わず語りに表していました。



## 三鷹の森ジブリ美術館



ここは予約がないと入場できないので、今回は建物の外観を見て楽しみました。外観だけでも、ジブリ映画のシーンの雰囲気を十分感じることができました。

## 会食 吉祥寺北口にて



昼時でお食事処が混雑していたので、二手に分かれました。イタリアンレストランと韓国料理店に分かれました。それぞれに黙食を心がけて、楽しい時間を過ごしました。

## 吉祥寺駅北口商店街



レトロで昔チックな横丁があり、鯛焼き屋さんがあり、八百屋さんがあります。若者の街らしい小じやれたショップ、昔ながらの馴染みやすいお店、これらのフュージョンが、昭和、平成、令和の時の流れを感じました。

参加しました！感想で～す。

## (東京都世田谷区)

本日の花見で、一万歩以上を皆さまについて歩けたことで完全復活！と嬉しく思います。実は、1月に骨折し入院を1ヶ月していました。お花見までには杖なしで歩けるようにと思い、毎日千歩からのリハビリをし、ついにこのお花見で一万歩を達成しました。

## 番外編 満開

### 国史跡江戸城外堀の桜

勝手観桜人 (東京都新宿区)

昨年 2021 年 7 月の WSC 懇話会で、江戸城の外堀の沿革などの講話がありました。その折、講師から「春の外堀の桜は見事です」とお話がありました。

コロナ禍が下火になったのを見定めて、本年 2022 年 3 月 31 日、現地に赴いて観桜と洒落込みました。講師のお話通り満開の桜は見事でした。多数の淡い色の染井吉野があり、濃い赤の八重桜、白い大島桜、ピンクの枝垂れありと、大いに目を楽しませてくれました。

講話で紹介があった通り赤坂迎賓館の近くに、江戸城外堀の案内看板がありました。JR 四谷駅はこの外堀に隣接しています。



外堀の水面に枝がさがり、そこに都会の高層ビルを映す逆さ絵風です。



外堀の内側から見上げると小高い土手になっています。そこに太い幹の桜が爛漫と咲き誇っていました。

JR 四谷駅前の枝垂れです。近くに雙葉学園があり、入学式の記念スナップスポットです。信号機と交通標識を従えた、都会の桜爛漫です。



JR 四谷駅の近くの満開の桜です。左の高いビルが上智大学、真ん中の尖塔がイグナチオ教会です。

お花見は、天候に恵まれました。朝のうち三分咲きの隣家の桜が、夕方帰宅すると七分咲でした。井の頭公園の午前の観桜でも三分咲きでしたので、夕方には見頃になったことでしょう。

昼食時のビールのおいしかったこと。コロナで、なかなか皆でビールをいただく機会も減っていたせいかもしれません、……。お花見の参加者全員が健脚で、私自身は 86 歳ですがもう少し皆様についていくよう頑張る気持ちになりました。

桜の時期が一番心がウキウキします。次の企画を楽しみにしています。

#### (東京都杉並区)

吉祥寺、井の頭恩賜公園に花見のため 15 人のメンバーが 10 時 30 分に吉祥寺駅に集まりました。1 時間ほどかけて井の頭の池を一周しました。園内の自然水生物園は、井の頭の自然公園の成り立ちや水草と魚の世界をわかりやすくみせてなかなか勉強になりました。

桜は二、三部咲きでちょっと早い気がしましたが、満開の頃もう一度訪ねたいと思います。昼のお弁当を広げている家族があちこち居てとても和やかです。その後、入館しませんが「三鷹の森ジブリ美術館」に立ち寄りました。昼食は北口にある「サイゼリア」で、楽しい時間を過ごしました。

#### (東京都調布市)

今回のお花見は桜もまだ三分咲きでしたが、お天気も良くゆったりと歩いて気持ちの良いひと時でした。私にとり、井の頭公園は、いろいろ思い出があります。

1. 小学校の低学年の頃、お友達とプールへよく泳ぎに行きました。親も一緒でした。なにしろプールの水が冷たくて冷たくて、あの冷たさは今でも忘れられません。

2. 私の仲の良いお友達がよく「私の家は庭が井の頭公園なの」と言うくらい目の前なのです。散策の途中よほど呼んでみようかと思いましたが、今回は止めました。

3. 毎年桜の咲く時期に、高校の同期会を開きます。散策が終わり次第いつもの場所に集合し、乾杯です。

4. ジブリの森で有名な宮崎駿さんが同期生でした。仲間の評判では、あまり目立たない生徒でした。

井之頭公園はいろいろと馴染み深く、こうして WSC の皆さんとご一緒できたことは、貴重な思い出となることでしょう。